ｓ（ｔ）　：ＲＦ信号
f_c　：送信波に含まれるいずれかのＯＦＤＭセグメントの中央の周波数
ｎ　：シンボル番号
S_1　：１セグメント形式のＯＦＤＭフレームの数
S_{13}　：13セグメント形式のＯＦＤＭフレームの数
ｂ　：１セグメント形式及び13セグメント形式のＯＦＤＭフレームの番号（周波数軸上左端のＯＦＤＭフレームを０とする）
Ｎ（ｂ）　：ＯＦＤＭフレームｂのキャリア総数
（ただし、$b \neq S_1 + S_{13} - 1$であるＯＦＤＭフレームについては、
１セグメント形式の場合、モード１：108、モード２：216、モード３：432、
13セグメント形式の場合、モード１：1404、モード２：2808、モード３：5616
$b = S_1 + S_{13} - 1$であるＯＦＤＭフレームについては、送信波全体の周波数軸上右端にあるＣＰを含めて
１セグメント形式の場合、モード１：109、モード２：217、モード３：433、
13セグメント形式の場合、モード１：1405、モード２：2809、モード３：5617）
ｋ　：ＯＦＤＭフレームごとのキャリア番号（周波数軸上左端のキャリア番号を０とする）
ｃ（ｂ，ｎ，ｋ）：ＯＦＤＭフレームｂ、シンボル番号ｎ、キャリア番号ｋに対応する複素信号点ベクトル
T_u　：有効シンボル期間長
T_g　：ガードインターバル期間長
（ただし、$b \neq S_1 + S_{13} - 1$であるＯＦＤＭフレームについては、
１セグメント形式の場合、$T_u = 7N(b) / 3 \times 10^{-5}$、
13セグメント形式の場合、$T_u = 7N(b) / 39 \times 10^{-5}$、
$b = S_1 + S_{13} - 1$であるＯＦＤＭフレームについては、
１セグメント形式の場合、$T_u = 7(N(b) - 1) / 3 \times 10^{-5}$、
13セグメント形式の場合、$T_u = 7(N(b) - 1) / 39 \times 10^{-5}$）
T_s　：シンボル期間長（$T_s = T_u + T_g$）
$K_c(b)$　：ＯＦＤＭフレームｂの中央の周波数に対応するキャリア番号
（１セグメント形式の場合、モード１：54、モード２：108、モード３：216、
13セグメント形式の場合、モード１：702、モード２：1404、モード３：2808）
K_{fc}　：f_cに対応するキャリア番号（ただし、キャリア番号は、連結送信の場合を含め、送信波全体の周波数軸上左端のキャリア番号を０とし、送信波全体で連続した番号を用いて表す）
$W_{k,b}$　：別表第十四号に示すWiの値のうちＯＦＤＭフレームｂのキャリア番号ｋに対応する値

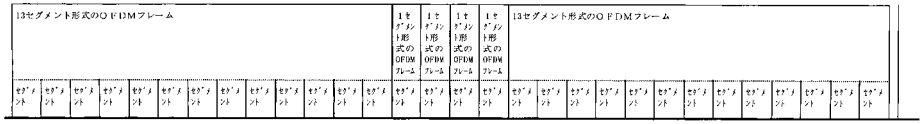
別表第十九号の六　ＯＦＤＭフレームの変調波スペクトルの配置（第22条の５第２項関係）

１　13セグメント形式のＯＦＤＭフレームを単独で送信する場合

セグメントNo.11	セグメントNo.９	セグメントNo.７	セグメントNo.５	セグメントNo.３	セグメントNo.１	セグメントNo.０	セグメントNo.２	セグメントNo.４	セグメントNo.６	セグメントNo.８	セグメントNo.10	セグメントNo.12

２　連結したＯＦＤＭフレームを送信する場合

１セグメント形式のＯＦＤＭフレームと13セグメント形式のＯＦＤＭフレームを下記の例のように連結する。13セグメント形式のＯＦＤＭフレームは、部分受信部を挿入する場合には、セグメント番号０に挿入し、順次セグメント番号に従って、差動変調部、同期変調部と配置し、帯域の右端には、ＣＰシンボルに対応するキャリアを配置する。



別表第十九号の七　映像信号の符号化パラメータ（第22条の７第２項関係）

最大フレーム周波数	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz	30Hz
画面の横と縦の比	16:9	4:3	4:3	16:9	4:3	16:9	4:3	4:3	16:9	4:3	4:3	16:9	4:3	4:3	16:9
水平方向の映像の輝度信号の画素数	160	160	176	176	176	320	320	352	352	352	352	352	640	720	720
水平方向の映像の色差信号の画素数	80	80	88	88	88	160	160	176	176	176	176	176	320	360	360
垂直方向の映像の輝度信号の画素数	90	120	120	120	144	180	240	240	240	288	480	480	480	480	480
垂直方向の映像の色差信号の画素数	45	60	60	60	72	90	120	120	120	144	240	240	240	240	240

別表第十九号の八　同期パケット及びファイル伝送パケットの構成（第22条の13第１項第１号関係）

１　同期パケット

ヘッダ部	データ部

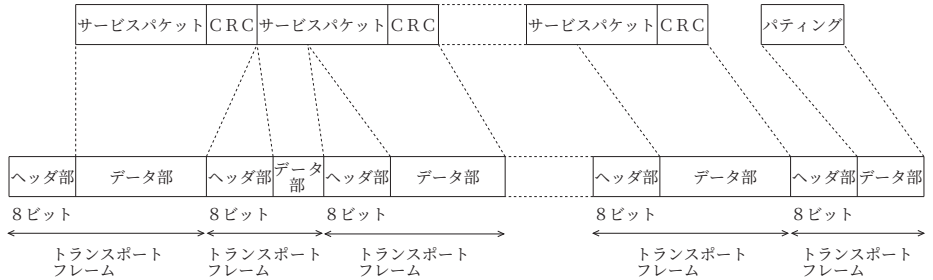
注１　ヘッダ部は、同期パケットの種類の識別及び同期パケット間の同期のために使用する。
２　データ部は、データ伝送のために使用する。

２　ファイル伝送パケット

ヘッダ部	データ部

注１　ヘッダ部は、ファイル伝送パケットの種類の識別のために使用する。
２　データ部は、データ伝送のために使用する。

別表第十九号の九　トランスポートフレームの構成（第22条の13第１項第２号関係）



注１　ヘッダ部は、トランスポートフレームの分割・結合のために使用する。
２　データ部は、データ伝送のために使用する。
３　ＣＲＣは、データの誤り検出のための符号とし、省略してもよい。
４　パディングは、トランスポートフレームの長さを調整するために使用し、省略してもよい。